

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地																							
専門学校西鉄国際 ビジネスカレッジ		平成6年3月23日	椎葉 小夜子	〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾1-13-32 (電話) 092-522-3135																							
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地																							
学校法人西鉄学園		昭和37年2月27日	高崎 繁行	〒816-0922 福岡県大野城市山田3-12-1 (電話) 092-586-2480																							
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																						
商業実務	商業実務専門課程	エアライン科		平成23年文部科学省 告示第167号	—																						
学科の目的	業界で働く覚悟、国際的なマナーとホスピタリティを身につけ、長期に渡って活躍できる人材を育成する。 航空業界で働くキャビンアテンダント、グランドスタッフ、グランドハンドリングを目指すために必要な知識・技能を習得する。																										
認定年月日	平成26年3月31日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
	2年							昼間	2016	994	782	240	0	0													
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
180		167	4	2人	20	22																					
学期制度	■1学期:4月2日~7月31日 ■2学期:9月14日~1月29日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 期末試験もしくは実技試験。 A:80%以上、B:60%以上、C:50%以上、D:50%未満 進級・卒業判断時に所定の単位以上を取得し、期日までに 学費を納入すること。																						
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:8月1日~9月13日 ■冬季:12月22日~1月5日 ■学年末:2月1日~3月31日			卒業・進級 条件																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ホームルーム、個別面談など			課外活動	■課外活動の種類 クラス委員長会・行事委員会・ホスピタリティクラブ等  ■サークル活動: 有																						
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 航空業界			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報)																						
	■就職指導内容 担任及び就職担当教員による指導				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AXESS検定(国内2級)</td> <td>③</td> <td>79人</td> <td>79人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	AXESS検定(国内2級)	③	79人	79人												
	資格・検定名	種	受験者数		合格者数																						
	AXESS検定(国内2級)	③	79人		79人																						
■卒業者数 56 人 ■就職希望者数 55 人 ■就職者数 55 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合																											
: 98.21428571 %																											
■その他 ・進学者数: 0人 ・進路変更																											
(令和 元年度卒業者に関する 令和2年5月1日 時点の情報)																											
中途退学 の現状	■中途退学者 3名 平成31年4月1日時点において、在学者146名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者143名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 意欲減退・進路変更など		■中退率 2%																								
■中退防止・中退者支援のための取組 担任、学科長との面談、スクールカウンセラーによる対応																											
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 IBC特待生制度[授業料の免除]・IBC支援金制度[資格・検定取得者・出席優良者、学業成績優良者等]・西鉄グループ奨学金[奨学金支給]等  ■専門実践教育訓練給付: 給付対象																										

第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価： 無
当該学科の ホームページ URL	http://ibc.ac.jp

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育の質の保証及び改善をするため、教育活動の状況に関する評価を行い、業界の要請を十分にいかしつつ実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

校務運営規程に基づき科毎に科会を設け、学科長を置き教育の質の保証・改善のために担当科の教育課程編成委員会へ参加し、教育課程編成委員会での審議を各科で検討を行い学内会議を経て採用される。

・校務運営規程第6章 教育課程編成委員会第11条

・校務運営規程第8章 校務分掌第14条

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年11月1日現在

名前	所属	任期	種別
嶋田 勝彦	THE BASICS FUKUOKA 支配人	令和2年4月01日～ 令和4年3月31日	③
梅野 一生喜	株式会社西鉄ホテルズ シティホテル事業本部 宿泊部 グランド宿泊担当 支配人	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	③
西原 慎太郎	西鉄旅行株式会社 総務部 部長代理	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	③
清水 妙子	株式会社JALスカイ九州 福岡空港本店 総務部 マネジャー	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	③
佐竹 恵一	株式会社JALグランドサービス九州 総務部 総務グループ係長	令和2年4月01日～ 令和4年3月31日	③
江口 哲郎	JR九州サービスサポート株式会社 常務取締役 駅事業部長	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	③
三笥 和弘	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	①
三浦 芳徳	公益財団法人 産業雇用安定センター 福岡事務所 参与	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	①

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、10月)

(開催日時(実績))

第1回 令和2年7月29日 16:30～17:30

第2回 令和2年10月15日 16:30～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

意見:観光業界を幅広く学んでほしい。

活用:広く観光業を学び、進路選択させていく。

意見:テーマによっては外部講師をスポットで招いてはどうか。

活用:これまでも行っていることではあるが、学習テーマあった講師の招聘する。

意見:航空業界の変化に対応できる人材育成を期待する。

活用:アクティブラーニング型の学習を行っていく

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

教育の質の保証及び改善をするため、教育活動の状況に関する評価を行い、業界の要請を十分にいかしつつ実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実習の実施前に打ち合わせを行い実習内容詳細について決定する。実習期間中、担任が各企業を訪問し、学生の学習状況について直接確認するとともに、実習担当者との情報交換を行う。実習終了時には、実習担当者による学生の学習成果の評価をふまえ、担任が単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
アルテア	日本航空予約システムの基本操作を習得する。	AXES国際ネットワーク
エアカーゴ概論	航空貨物取り扱いについての基礎実務を学ぶ	JALグランドサービス
航空業界研究	航空業界の職種・業務内容を学ぶ、また北九州見学を行う。	西鉄エアサービス
コミュニケーションイングリッシュ	観光業界で使う英語を習得し、英語での接客アナウンスを学ぶ	学研プラス
企業実習	授業で学習した理論と実技の一体化を目的とし、社会人としての厳しさ、基本的な業界の知識や技術の習得を目的とする。	JALスカイ九州、ANA福岡空港、エスエーエスなど

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記教職員研修規程に基づき職務の遂行に必要な知識及び技能等を習得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図る。

・教職員規程 第1章及び第2章

研修計画(教職員研修規程 第2章 第6条による)

(1) 学校及び部室主催の研修 年1回以上

(2) 関係団体や業者が主催する研修 不定期年1回以上

(3) 校長により承認された業界実習や通信教育等の自己啓発研修 適宜

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

・8月1日(火)～3日(木)「新任教員研修」

連携企業:福岡県専修学校各種学校協会

連携内容:福岡県専門学校協会主催による新任教員研修を行った。大学で、教育学に関する教鞭をとっておられる教授に専門学校で求められる教員の役割について理論や実践を交えて学んだ。

・8月30日(水)～31日(木)「中堅教員研修会」

連携企業:職業教育・キャリア教育財団

連携内容:12時間の講義の受講

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「教育現場のコミュニケーションに生かすアドラー心理学」(連携企業等: ヒューマン・ギルド )

期間:令和元年8月6日(火) 対象:教職員・非常勤講師

内容:教育現場で生かすことのできるアドラー心理学の内共感や励ましの手法について学んだ。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「業界の求める人材について」(連携企業等:西鉄エアサービス )

期間:令和2年11月を予定 対象:エアライン科教職員

内容:企業の採用担当者による講話を通じ教育の課題を共有し、教育効果を高めることを目的とする。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「令和元年度中堅社員研修」(連携企業等:福岡県専修学校各種学校協会)

期間:令和元年8月20日(火)～21日(水) 対象:中堅教職員

内容:学級経営・学生対応

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育の質の保証・改善、社会に対する説明責任、学校評価を通じたガバナンス改善に向けた自主的な取り組みを促進していくことを目的とし、学校の教育活動や学校運営の状況に対して外部の学校関係者による評価を行い、その結果を教育活動・学校運営に活用する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	・理念、教育方針 ・目標 ・育成人材像
(2) 学校運営	・運営方針 ・事業計画 ・組織運営 ・人事、給与制度
(3) 教育活動	・教育課程の編成方針、実施方針 ・教育課程 ・キャリア教育 ・授業
(4) 学修成果	・就職率 ・資格の取得率 ・卒業生の社会的評価
(5) 学生支援	・就職等進路に関する支援組織体制 ・退学率等の低減 ・学生相談
(6) 教育環境	・施設、設備、教育用具等 ・実習、海外研修等 ・防災組織体制
(7) 学生の受入れ募集	・学生募集 ・入学選考基準 ・学納金
(8) 財務	・収支状況
(9) 法令等の遵守	・法令に基づく学校運営 ・個人情報保護 ・自己評価 ・学校関係者
(10) 社会貢献・地域貢献	・社会貢献、地域貢献の実施 ・ボランティア活動の奨励と支援
(11) 国際交流	・国際交流の取り組み

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会を年間2回開催し、当該意見を教育活動その他の学校運営の改善等に活用する。

意見・質問: Webでのオープンキャンパスは行っているか。

活用: 行っている。またオンラインでのガイダンスも行っている。更に参加者にとって参加しやすい方法を工夫していく必要がある。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年11月1日現在

名前	所属	任期	種別
鴫田 勝彦	THE BASICS FUKUOKA 支配人	令和2年4月01日～ 令和4年3月31日	③
梅野 一生喜	株式会社西鉄ホテルズ シティホテル事業本部 宿泊部 グランド宿泊担当 支配人	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	③
西原 慎太郎	西鉄旅行株式会社 総務部 部長代理	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	③
清水 妙子	株式会社JALスカイ九州 福岡空港本店 総務部 マネジャー	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	③
佐竹 恵一	株式会社JALグランドサービス九州 総務部 総務グループ係長	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	③
江口 哲郎	JR九州サービスサポート株式会社 常務取締役 駅事業部長	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	③
三笥 和弘	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長	令和2年4月01日～ 令和4年3月31日	①
三浦 芳徳	公益財団法人 産業雇用安定センター 福岡事務所 参与	令和2年4月01日～ 令和4年3月31日	①
井上武之	県立高等学校長 経験者	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	②
松藤 大助	日本郵便株式会社 竹下郵便局 局長	令和元年4月01日～ 令和3年3月31日	①

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) ( )

URL: www.ibc.ac.jp

公表時期: 令和2年11月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者との連携および協力の推進に資するため、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を、具体的に分かりやすく、且つ積極的に提供するものとする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	・建学の精神 ・教育方針 ・校長名、所在地、連絡先等 ・学校の沿革
(2) 各学科等の教育	・収容定員、在学学生数 ・カリキュラム、年間授業スケジュール ・資格
(3) 教職員	・教員の担当科目、担当学年
(4) キャリア教育・実践的職業教育	・キャリア教育 ・企業実習 ・就職支援
(5) 様々な教育活動・教育環境	・学校行事 ・課外活動(部活動等)
(6) 学生の生活支援	・学生支援(健康診断、学生相談等)



授業科目等の概要

(〇〇専門課程〇〇学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			航空業界研究	航空業界の知識、業種、空港、航空機等について講義。	1通	60	4	○			○		○		
2	○			空港実務	国内の空港や航空会社の特徴、国内線におけるお客様の流れを学ぶチェックイン業務やアナウンス業務など学ぶ。	1通	60	4	○			○		○		
3	○			アルテア	JAL国内線の予約業務を行う。	1通	60	4		○		○		○		○
4	○			グランドハンドリング	航空会社が求めるグランドハンドリング業務全般を理解する。	1通	60	4	○			○		○		○
5	○			エアカーゴ概論	航空貨物取扱全般に加えてその他付随する業務について講義	1通	60	4	○			○		○		○
6	○			空港英語	空港で使われる英会話や語彙を理解する。英語での接客・アナウンスが出来るようになる。	1通	60	4	○			○		○		
7	○			日本語表現	敬語・文法・語彙を学び、美しい日本語を理解する。	1通	60	4	○			○		○		
8	○			ビジネスマナー	社会人になる前の心構え、また専門学校での過ごし方を学ぶ。	1通 2前	90	6	○			○		○		
9	○			就職活動講座	自己分析・企業研究を進め、就職試験のための具体的な活動を習得する。	1通	60	4	○			○		○		
10	○			TOEIC/英検対策Ⅰ・Ⅱ	英検・TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化を目指す。	1通	##	10	○			○			○	
11	○			コミュニケーションングリッシュ	日常生活だけではなく航空業界で使う用語についてネイティブ講師からオンラインで学ぶ。	2通	##	8		○		○		○		○
12	○			第二外国語 (中国語・韓国語)	中国語又は韓国語の基礎的な発音・文法・単語を習得し、簡単な会話ができるようになる。	1通 2前	90	6		○		○			○	
13	○			SPI 言語対策・非言語対策	就職試験における言語系・非言語系の筆記試験対策を行う。	1通 2前	##	10	○	①		○			○	
14	○			コンピュータ	Wordを使ったビジネスレターの作成、Excelを使った表計算を学ぶ。	2通	##	8		①		○		○		

15	○		LHR	学校生活における調和と自己啓発を図る。	2通	##	8		○		○		○					
16	○	○	運送サービス/ ビュートィ・日本語 表現	旅客・手荷物客室業務について基礎知識を習得する/好感を持たれる笑顔が映える顔作り。	1前	30	2		○		○		○					○
17	○		ユニバーサルサービス	障害者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める。介助の知識を身に付ける	1後	30	2	○			○		○					
18	○		手話	聴覚障害者への理解と知識を学ぶ。	1後	30	2		○		○		○					
19	○		ペン字	文字の基本を学び、様々な用途に合わせた書式とバランスを学ぶ。	1後 2前	30	2		○		○		○					
20	○		フライトオペレーション	航空機、航空業界の歴史や仕組み、航空管制の知識、空港の構造、運航管理について学ぶ。	2前	30	2	○			○		○					
21	○		観光地理	世界の国や都市、観光資源について学ぶ。	2通	60	4	○			○		○					
22	○		コミュニケーション学	講義・演習を通し、コミュニケーションの大切さを学ぶ。	2前	30	2	○			○		○					
23	○		観光英語	観光・航空業界での英語を身に付ける。接客に必要な英語表現を学ぶ。	2通	60	4	○			○		○					
24	○		航空業界受験対策・就職活動講座	企業に選ばれる人物のなるべく人間性を磨く。自己表現する。	2前	32	2	○			○		○					
25	○		航空機概論	旅客機の機種、メーカー、メカニズムについて講義。	2後	30	2	○			○		○					
26	○		フレッシュャーズ教育	社会人になる前の心構えや準備を行う。課題解決できる力を身に付ける。	2後	30	2	○			○		○					
27	○		就職活動セミナー	就職活動直前における心構えの再確認や企業による説明会など	2前	30	2		○		○		○					
28	○		行事Ⅰ	行事によって調和と自己啓発を図る 初年時教育Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ/スポーツ大会/業界見学	1後	30	1				○		○					
29	○		行事Ⅱ	行事によって調和と自己啓発を図る スピーチコンテスト/就職強化セミナーⅠ・Ⅱ/スポーツ大会/スピーチコンテスト	2後	30	1				○		○	○	○	○		○
30	○		研修旅行	海外旅行を通じて国際感覚と業界への理解、クラスの親睦を深める	1後	30	1				○		○	○	○			○
31	○		企業実習1～5	全国の空港にて現場での実習を行い、サービススキルを習得し業界への理解を深める	2前	##	5				○							○

合計	31科目	2016単位時間(126単位)
----	------	-----------------

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：1706単位時間（106単位） 学生の単位取得不可を予め見込んで、規定単位に若干の単位を上乗せすることで総単位を増やした。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。